

随 意 契 約 結 果 書

工事名又は業務名	プローブデータを活用した渋滞状況等分析業務
契約の相手方	阪神高速技研(株)
契約金額	19,600,000 円
契約制限価格	-
契約年月日	平成 27年 10月 7日

契約金額及び契約制限価格の項は、消費税及び地方消費税を除いた額である。

随意契約理由書

1 工事（業務）名	プローブデータを活用した渋滞状況等分析業務
2 業者名	阪神高速技研株式会社
3 随意契約理由	<p>本業務は、プローブデータを活用することにより、検知器データを用いた従来手法では困難であった、ミクロな交通・渋滞状況分析や、渋滞対策の効果及び街路への影響分析、一般道路との利用分担を踏まえた高速道路の利用傾向把握に係る分析を行うものであり、その円滑かつ効率的な実施のためには、阪神高速道路固有の交通・渋滞状況に精通した上で、当社の意図を的確かつ迅速に反映し、技術及びノウハウの蓄積と品質及びコストパフォーマンスの向上を図れることが必要である。</p> <p>阪神高速技研（株）は、当社の経営戦略、方針に基づき、当社のグループ会社として、当社と一体となって業務を実施するために設立された会社であり、これまで当社の交通量調査業務や渋滞対策に関する各種業務を実施しており、阪神高速道路固有の交通・渋滞状況を熟知しているばかりでなく、共通の経営目的をもって業務を行い、技術及びノウハウの蓄積と品質及びコストパフォーマンスの向上を図っている。</p> <p>よって、阪神高速技研（株）は、他者よりも本業務を適切、かつ、効率的に実施できるものと考えられるため、阪神高速道路株式会社契約規程第 2 条第 1 号の規定により随意契約とする。</p>
阪神高速道路株式会社契約規程第 2 条第 1 号の規定による。	

契約の内容

契約年月日	平成 27 年 10 月 7 日
契約業者名	阪神高速技研株式会社
契約業者の住所	大阪府大阪市西区阿波座 1 - 3 - 1 5
業務の名称	プローブデータを活用した渋滞状況等分析業務
業務場所	阪神高速道路全線
業務種別	委託
業務概要	本業務は、プローブデータを活用することにより、検知器データを用いた従来手法では困難であった、ミクロな交通・渋滞状況分析や、渋滞対策の効果及び街路への影響分析、一般道路との利用分担を踏まえた高速道路の利用傾向把握に係る分析を行うものである。
業務期間(自)	平成 27 年 10 月 8 日
業務期間(至)	平成 28 年 9 月 30 日
契約金額	21,168,000 円

金額は、税込みである。